



上記はイメージパースとなります。実際の会場とは異なる場合があることをご了承ください。

「これからの家」を造るための4つのポイント

1. 省エネルギー性能の義務化が求められる

「2020年度までに新築住宅の省エネ義務化」これは、平成23年9月19日の日経新聞の一面のトップ記事のタイトルです。国は2020年度までに全ての新築住宅の省エネ性能を義務化し、現在の省エネ基準も世界基準まで引き上げる方向で考えています。

→ **本住宅の省エネルギー等級は、今現在の基準の最高等級を得ています。**

2. 地域材の活用が求められる

木材需要の多い住宅において、優れた再生材である国産材や地域材の活用を必要としています。

→ **本住宅は、国産材を構造材の過半以上に使用し、国の補助金を受けて建てられています。**

3. CO2排出量を削減することが求められる

太陽光発電やコージェネレーション設備等、ライフサイクルを通じたCO2排出量の削減が求められています。

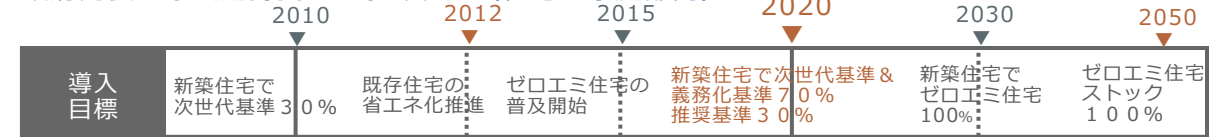
→ **本住宅は、省エネ化することでエネルギー使用を合理化し、かつ、高水準のモジュール発電効率を持つ太陽光発電を搭載し、より合理的にエネルギーを創り出し、利用しています。**

4. 省エネルギー性能の「見える化」が求められる

設計段階でのエネルギー消費量の計算はもちろんのこと、住宅を省エネ化し、より快適性が実感できるよう、その「見える化」が求められています。

→ **本住宅では、太陽光発電や給湯器を含めたエネルギーモニターを設置し、常にエネルギー創出と使用が見えるようにしています。**

政府発表の中長期計画ロードマップ（住宅・家庭部門）



出展：環境省「チャレンジ25キャンペーン」URL: <http://www.challenge25.go.jp/roadmap/media/a1-2.pdf>

長期優良住宅+太陽光発電 電気を自ら生み出し、少しずつ使う家

「これからの家」完成見学会開催

～未来を見据えた省エネ・創エネ住宅の家づくり～

2012.1/14 Sat.-1/15 Sun.
open from 10:00 to 17:00

「2020年度までに新築住宅の省エネ義務化」。これは、平成23年9月19日の日本経済新聞一面の記事のタイトルです。

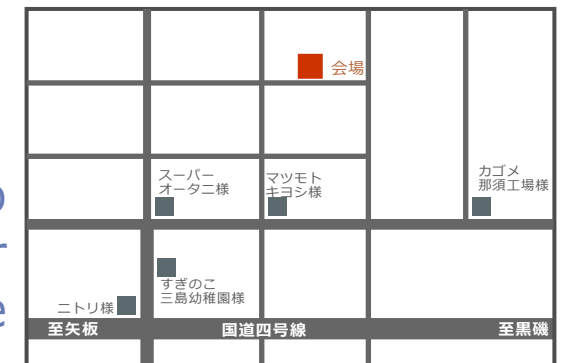
政府は2020年度までに全ての新築住宅の省エネ性能を義務化し、現在の省エネ基準も世界水準まで引き上げる方向で考えています。

長いローンを組み、今年家を建てたとします。しかし8年後の2020年にはもう、住宅の性能に関わる制度改正が行われてしまうのです。このまま住宅の性能を意識せずに、今年家を建ててしまっても良いのでしょうか？

いいえまだ遅くはありません。ぜひ、今後の住宅政策に沿う家造りを一度考えてみませんか？

本見学会は住宅の性能を上げる方法を知る一助となる見学会です。ぜひ多くの「これからの家」づくりを考える方にご来場いただければ幸いです。

Welcome to
our
Open House



見学会会場：那須塩原市東三島5-94-39



あたたかい木の家を建てるなら

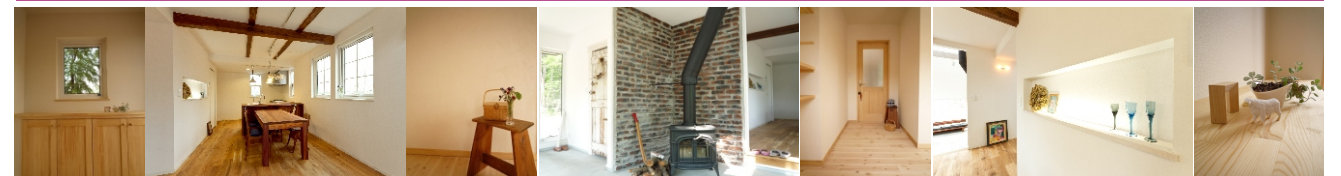
「FPの家」那須林産工業株式会社 <http://www.nasurin.com>

NASURIN 〒329-2734 栃木県那須塩原市北二つ室349 Tel. 0287-36-0868 Fax. 0287-36-6149

～那須林産工業の家は昔から環境にやさしいエコな家～

弊社では15年以上前から、性能にこだわった家造りをしてきました。住宅をしっかり断熱・気密化すれば、無駄なエネルギーを使う事なく、環境にも人にも優しい家になります。暑さ寒さを我慢し、電気を使わない事はエコですか？いいえ、しっかりした性能の家を造れば少ないエネルギーで快適にすごせるのです。「まずは性能を上げ、省エネを考える」私たちはそんな家造りを目指しています。

本住宅は、国の定める「長期優良住宅」の認定を受けた住宅であり、省エネルギー等級4、耐震等級2、維持管理対策等級3などの高い性能を満たした高性能な住宅です。さらに、国産材を構造材に使うことにより、木のいえ整備促進事業という国の補助事業（補助金120万円）を受けて建てられています。



上記の写真は全て、弊社の施行例です。無垢の木や自然素材を多く使っています。本現場の完成写真ではありませんが、ぜひ今後の家づくりのご参考にいただければ幸いです。